

2011.02.27 原田作成

## つくば市民白書 2012 実行委員会 第 8 回会合レジュメ

日時：2011 年 2 月 27 日(日)9:30-12:00(予定)

場所：春日公民館、会議室 1

議題：

- (1) 報告(経過、勉強会)
- (2) 協議
- (3) その他

(1) 報告

①経過報告

1 月 31 日	第 6 回実行委員会 (並木公民館)
2 月 7 日	つくば市総合計画文書について市役所企画経営課訪問 (原田、横井、矢澤) (資料「つくば市民白書 2012」について)
2 月 28 日	第 7 回実行委員会 (春日公民館)

(2) 協議

①編集委員会構成の検討

2008 年版の場合、実行委員会の中に「編集チーム」を作って実務を行った。執筆者と原稿作成について打合せを行い、進行管理を行った。また冊子作成のためページの割り振り、レイアウト、写真製版のための最終原稿を作成した。

出版後の苦情、問い合わせなどの対応をどうするのかの準備が不足していた。

- ・冊子作成、編集の基本方針を決めておく。
  - ・実行委員会、編集チームの役割を明確にする。
  - ・執筆者と編集者の責任を明確にする。
- (編集責任者) 山本、(チーム) 野崎、原田、矢澤、横井

②つくば市に対するヒアリング

③スケジュール

2010.12：勉強会

2011.01：目次素案、執筆者検討

2011.02：編集委員会構成検討

2011.03：体制整備

2011.04：目次完成、編集体制始動

～2011.3 : 調査、内容の整理、編集方針の決定、目次案作成

2011.04～07：目次完成、執筆依頼

2011.08～12：原稿執筆、一次稿完成

2012.01～04：編集、最終稿、完成

④次回

## つくば市民白書 2012 実行委員会 第6回会合まとめ

日時：2010年12月25日(土)10:00-13:00

場所：並木公民館、小会議室2

出席者：河村、山本、矢澤、横井、野崎、原田

議題：

- (1) 報告(経過、勉強会)
- (2) 協議
- (3) その他

### (1) 報告

#### ①経過報告

11月23日 自治基本条例学習ワークショップ、12月19日介護保険シンポジウム(石岡)が開かれた。

#### ②公民館問題

河村氏より公民館問題について報告がなされた。11月2日に市長が定例記者会見でパブリックコメントのまとめをまたずに12月議会に条例を提案すると記者発表をした。11月20日にまとめが発表されたが反対意見が反映されていない。来年4月から実施される、12月に13団体で要望書を陳情する。

#### ③介護保険シンポジウム

横井より介護保険シンポジウムの報告がなされた。2000年に制度ができ、その後2003年、2006年、2009年に見直しされたが、自己負担の増額など状況は悪化している。

#### ④その他

- ・つくば市では学校の適正規模とすることで統廃合が進められている。
- ・平和の取り組みとして、谷田部工科高校で飛行場跡の調査、平和会館の訪問など行っている。

#### ⑤勉強会(環境)

つくば市は「つくば環境スタイル」を市長公室・政策審議室・環境都市推進室でつくば市環境都市推進委員会を作って進めている。低酸素社会づくりをめざして環境教育、交通体系、田園空間、実験低炭素タウンが柱である。従来の環境行政とは別のようだ。つくばスタイルとの関係は不明。キャッチフレーズをちりばめているが内容は既存のものではないか。

今後、担当職員を囲む勉強会、懇談会の開催、市内環境団体への呼びかけを行ってはどうか。進め方として、論点の整理、白書のアウトライン検討、執筆依頼の順となる。

### (2) 協議

#### ①白書2012構成の検討

「医療と福祉」は横井が担当する。

「教育と文化」に公民館問題を加える。

「平和」「市民運動」の項の追加を検討する。

#### ②次回

2011年1月30日(日)午前中 9:30-12:00

(12/26 並木公民館、小会議室2を予約)

2011.02.07 原田作成

## つくば市民白書 2012 実行委員会 第7回会合まとめ

日時：2011年1月30日(日)9:30-12:15  
場所：並木公民館、小会議室2  
出席者：河村、山本、矢澤、横井、野口、亀山、原田  
議題：  
（1）報告（経過、勉強会）  
（2）協議  
（3）その他

### （1）報告

#### ①経過報告

前回12月25日以降、とくに活動はなかった。

中央公園の水上展示場でクリーンエネルギーの展示が行われている。筑波大の院生が受付をしていた。

#### ②その他

2月14日（月）公民館問題の勉強会（二宮公民館）

### （2）協議

#### ①3月までの方針の確認

1月：構成大枠確定

2月：編集体制

3月：目次案

#### ②2012版の課題

4本程度の特集を企画する。

- ・つくば市の財政とTX沿線開発：亀山
- ・つくば環境スタイルと低炭素社会作り：矢澤
- ・つくば市の教育：寺門
- ・地域コミュニティ問題：野口

公民館の問題は教育に入れる。「産業と雇用」は重要だがまとめきれない。

#### ③つくば市の「計画」の把握

自治体は法律で各種の実施計画をつくることになっている。これらの計画を把握する必要がある。2月3～10日で市役所に挨拶をかねて聞きに行くことにする。

（1/31：2月7日（月）15:00に企画経営課（中島氏）訪問を決めた。）

#### ④沿線開発関係資料コピー代

亀山より沿線開発の財政関係資料のコピーとして8000円の要請があり、これを了承した。立て替え払いをしていただき後日精算する。

### ②次回

2月27日（日）9:30-12:00 春日公民館会議室1（1/31予約した）

(2月7日、つくば市企画経営課に持って行った紹介文)

2011年2月7日

## 「つくば市民白書 2012」について

### <概要>

つくば市の市民、団体により 2000 年、2008 年につくば市民白書が発行されてきました。

2008 年版「つくば市民白書 2008—市民の目でみたつくばの今」を発行した有志は 2010 年 4 月に新たに「つくば市民白書 2012 実行委員会」を発足させ、以下のような内容で発行作業を進めています。

### <白書の目的>

今つくばは、TXの沿線開発により大型店舗や高層マンションが沿線駅周辺に建ち並び活性化しているように見えます。しかし茨城県は、この 2 月に TX 沿線開発は将来負担 1020 億円の赤字となると発表しました。つくば市のインフラ整備負担は約 1000 億円です。開発は今にも頓挫しそうなのです。このままの町づくりで良いはずはありません。つくば市は沿線開発以外にも市庁舎、学校、給食センターなど箱もの行政を進めていますが、このような市政を進めていけば財政破綻を招く恐れがあります。しかし市民が市の状況を知る機会はあまりに少なく、知ろうとしても手段はごく限られています。

私たちは、つくばの市政と暮らしの現状・問題点・今後の課題などを市民目線で捉え、討議を行い、冊子にまとめて多くの市民に知らせることがまず必要であると強く感じ、「つくば市民白書 2012」の発行を決意しました。

### <2012 年版白書の内容>

「つくば市民白書 2012」は、前回作成した市民白書の項目を参考に、つくば市の財政、行政運営、医療・福祉、教育、文化、環境、商工業、農業など、市民の立場から調査分析し、報告・解説・意見・提言としてまとめます。

とくに今回は「つくば市の財政と TX 沿線開発」「つくば環境スタイルと環境政策」「つくば市の教育」「地域コミュニティ」などについて掘り下げたいと考えています。

### <実行体制>

実行委員会は、編集方針を決定し、検討項目、調査・執筆担当者を選定して執筆を依頼し、執筆者と協議を行いながら原稿の作成、編集等を行います。完成の目途は 2012 年 4 月末です。この間に関連する学習会や講演会、見学会なども行います。

つくば市民白書準備会

代表： 河村 俊次

事務局長： 原田 泰

連絡先：

information@tsukuba-hakusho.org

電話：029-855-2752(原田)

## 2012 白書の項目について

### (1) 重要項目

1. TX 沿線開発とつくば市の財政 (亀山)
2. つくば環境スタイルと低炭素社会作り (矢澤)
3. つくば市の教育(「教育日本一」の問題) (寺門)
4. 地域コミュニティ問題 (野口)

### (2) 個別課題

テーマ	課題	担当
①行政と財政	市の概要、行政組織の組織上の問題、運営上の問題 財政の問題 議会の問題 都市開発、情報公開、協働、男女共同参画	亀山 野口
②医療と福祉	高齢化	
③教育と文化	保育所、幼稚園、小中高、 文化行政 公民館の民営化(地域交流センター)	寺門
④まちづくり	TX 沿線開発、市街地域、周辺地域	河村
⑤環境	つくばスタイル、環境行政、市民活動	矢澤
⑥産業と観光	つくば市の産業(農業、商業、工業、その他) 観光	
⑦科学技術		
⑧平和	市民の平和への取り組み	